

2024年12月4日

大学院数学専攻長 殿
大学院数学関連専攻長 殿
数学関連学科長/コース長 殿

〒110-0016

東京都台東区台東 1-34-8
一般社団法人 日本数学会
『数学通信』編集委員会
委員長 田口 雄一郎

拝 啓

初冬の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、すでにご存知のことと思いますが、日本数学会では1997年度以来毎年、雑誌『数学通信』に「修士および博士論文」の項目を設け、論文提出者名と論文タイトルを掲載しております。つきましては、下記の要領で**報告書兼承諾書**を作成していただき、

2025年3月31日までに数学会事務局

thesis@mathsoc.jp

までお送りくださいますようお願い致します。

註1) 個人情報保護法の施行に伴い、2005年度以降、論文著者本人の掲載承諾をいただいた方のみ著者名を（論文タイトルは全てを）掲載させていただいております。

註2) 2022年度までは論文著者名・論文タイトルを記載したtexファイルと各著者の掲載承諾書とを別々に作成していただき、各数学教室ごとに一括して送付していただいておりますが、作業の簡略化のため、2023年度からはこれらを統一した報告書兼承諾書（texファイル）に書式を変更させていただきました。

もし新様式でのご提出が不便な場合は2022年度までの旧書式でご提出いただいても構いません。

記

(1) 以下のサイト

<https://www.mathsoc.jp/publications/tushin/info/thesis/>

から

- ・報告書兼承諾書作成のためのスタイルファイル thesis23.styと
- ・報告書兼承諾書のサンプルファイル dekoboko23.tex

をダウンロードし、サンプルファイルのファイル名をなるべく教室名が分かるようなもの（「科学大数学系.tex」等）に変えて保存してください。

(2) 貴教室において、2024年4月1日から2025年3月31日の期間に授与された、数学を内容とする修士、課程博士および論文博士がございましたら、その論文著者名と論文タイトル（註3）のデータを報告書兼承諾書のtexファイルにご入力ください。

タイプセットしてpdfファイルを作成していただくと署名欄が表示されます。それを印刷し、著者名を『数学通信』誌上に掲載する事にご同意いただける全ての論文著者の方に、該当欄に自筆署名してもらってください。

一枚の用紙に署名を集めるのが困難な場合は、複数の用紙に分散してご署名いただいても構いません。（同封のサンプルをご参照ください。）

署名済みの報告書兼承諾書のスキャンファイル (pdf) を作成してください。

註3) 論文タイトルは日本語・英語・両方併記、のいずれでも構いません。貴教室のご判断に一任致します。両方併記の場合は「英語タイトル (日本語タイトル)」の形でお願い致します。

(3) 上記の要領で作成していただいた

- ・ 報告書兼承諾書のtexファイルとpdfファイル
- ・ 自筆署名入り報告書兼承諾書のスキャンファイル (pdf)

の2点につきまして、2025年3月31日までに数学会事務局

thesis@mathsoc.jp

宛てに電子メールで添付ファイルとしてお送りください。

以 上

今回の集計結果は2025年5月20日頃に発送予定の『数学通信』30巻1号に掲載して、ご報告いたします。これが各地の大学院における数学の研究動向を知る一助となり、また若手研究者が同じテーマに興味を持つ仲間を得て研究を進展させるために利用することなどを期待しております。このような趣旨ですので、どうかご協力くださいますようお願い申し上げます。

年度末のご多忙な時期に、このような事務的に煩雑なことをお願いすることとなり大変恐縮ですが、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬 具

追伸 大学の事情によりましては、来年2月以降、論文提出者の署名を集めることが困難になることも考えられますので、早めにご依頼申し上げます。念のため2月上旬にリマインダを送らせていただきます。